

新支部長挨拶

新年度に向けてのご挨拶

北陸支部長 道坂圭三

また新しい年度が始まりました。昨年まで代議員を務められました小松先生が、体調のすぐれない中、これ以上の続投は無理だとのことで、昨年より急遽代議員の任をお受けいたしました。

そしてまだ新参者の私ですが、支部長イコール代議員ということで今年度より、中川先生から支部長も引き継ぎましたが、やはり諸先輩方のご指導ご鞭撻が無くては到底務まる物ではありません。どうぞよろしくお願い申し上げます。



さて、先般、福岡でのJSC本部総会に行つて参りました。JSC会員が少し減っている事、活動の状況と見直し、newKOセミナーの開催、そしてカイロ法制化の動きとその対応などの議題が上がり、役員及び代議員で協議いたしました。

各支部も熱い心を持った先生たちが、一生懸命「どうしたらこの素晴らしい医療を、わが国に定着させられるか」またその為には「どうしたら多くの徒手治療に携わる者がこの素晴らしいミキサーカイロを身に着けられるか」それぞれの思いを一生懸命話していました。

確かに積んだり崩したりしながら亀より遅い歩みでしか進まない問題ではあります。それでも飽くことなく進む仲間の姿に頼もしさを感じました。

今、日本は恐ろしいまでのスピードで少子高齢化が進み、もう歯止めが利かない状況であることは皆さんご存知のとおりです。癌患者や神経麻痺で動く事もままならない患者さんでさえ3ヶ月毎に転院、退院を強いられている状況です。

これは事実上、保険医療制度は崩壊していると言う事で、国庫金が枯渇しているため政府としても手の打ちようが無く、つまり間違いなく近い将来レセプトによる柔整師や鍼灸師の施療は無くなると思うのが妥当であると言えます。

しかし我々カイロプラティックを身に着けた人間にとっては、これは問題ではありません。昭和35年の最高裁判決の前からカイロプラターは実費による治療で患者さんを治して、それを生業としてきました。

むしろ電療とマッサージやアイシング、テーピングだけに頼った、治せない治療家との区別化がはっきりして好都合とも言えます。

開院前から患者さんが列をなす治療院と閑古鳥が鳴く治療院の差は何か、一言でいえば治せるか否かであり、前者はカイロプラティックなどのメソッドを身に着けた先生が施療

しており、後者は医師の指導のもと国家試験だけ通過した、メソッドを持たない先生が治療しているというだけの事であります。

しかしそのカイロプラクティックも新たな行政の波に煽られようとしています。カイロプラティックを医療ではなく、癒しにしようという動きがあるのです。（診断テストや治療が出来なくなる）消費者庁に医療事故として報告があったのでその時点から、あの最高裁の「患者に危険が及ばなければ職業の自由としてカイロプラクティックを認める」判決が危険が及んだとして認められなくなる可能性が出てきたと言う事です。

もちろんこのような事態を起こしたのは、正統なカイロプラクターではなく、カイロと名乗っている布団屋の輩ですが、カイロと名乗る以上は同一視されます。

しかし政府としては本来国庫金を使わず、患者さんに喜ばれる（治せる）カイロプラティックは歓迎すべき代替医療であり、あまり触れたくない事案であることも事実のようです。

ここで私たち徒手医学に携わる者がしっかりと会員を増やし、カイロプラティックを身に着け、更にカイロプラティックが出来ないのにカイロプラティックと名乗る者達にちゃんとしたカイロプラティックを伝えることは、患者さんに、国に、そして自分自身にとって最高に喜ばしく且つ重大な事なのです。資格の有無を問わず、この素晴らしい医療を存続し世に広める、これこそ意義のある大仕事と思います。

私達は、患者さんの苦しみと向き合い、それを除こうとする者はいわば救助隊です。救助員が要救護者を前にして、救うべき腕がないとか、忙しいとか、自分が辛いなどとそんな馬鹿げた話はありません。

我々も救助隊員と同じように日々訓練し、自分を忘れ、ただ患者さんを絶望的な苦しみから救うためにあるべきで、それを遣り尽くした時に本当の究極的幸福を味わうことになると信じています。「良医は患者を救い、真医は患者によって救われる」との格言がありますが、私達は及ばずながらこう在るべきと思っております。

此処に私はナーランダ伝承の生粋の仏教を学び行ずるものとして、師から賜った座右の銘を記したいと思います。

『多くを語る必要がどこにあらうか、賢者は利他（自分の幸せを意に介さず他の幸せのために生きる）を為し、愚者は自己の幸せの為だけに生きる。』

＝シャーンティ・ティーバ＝

自分が幸せになろうとして幸せになった者はおらず、人の幸せのために生きた者だけが幸せになった。この事実に人はそろそろ気付くべきです。＝ダライ・ラマ14世＝

少し話がズレたかにも思われるかも知れませんが、高い志を持ってもっともっと患者さんを治せるようになりたいと、同じ志を持つ先生方と共にこの道を行きたいと願っております。

稚拙ではありますが、JSC北陸支部長としての挨拶と替えさせていただきます。

平成30年度・JSC本部総会報告

本部理事 高橋克典

平成30年4月21日（土）22日（日）、博多の深見興産ビルにて、平成30年度JSC本部総会ならびに禁忌症講座他が開催されました。

北陸からは、代議員の道坂圭三先生と本部理事の私高橋克典が参加しました。

21日（土）は前日会議のため、小松空港の午前の便で福岡空港へと向かいました。福岡市は人口154万人と九州各地から人が集まり、博多駅周辺は人で溢れていました。会場の深見ビルは駅から、徒歩5～6分の好立地にある。

午後3時、役員5名、代議員10名で前日会議が始まった。

議題は、

- 1) カイロプラクティック制度化推進（準備）会議の進捗状況
対策；現状はオブザーバー参加で情報を収集し、事態の進展に応じて即応できるようにしておく。
- 2) 八木氏の返済状況の報告と今後の対策
報告；KO開催の月末までに40万円ずつ返済、今年度の12月末までに完済の予定。
- 3) KOセミナーの受講者の増強対策とPR
対策；各支部で受講者を勧誘、HPやSNS、ブログなどを活用して強力的にPR
- 4) 今後、JSCで取り組むべき事業はないか？
回答；正会員限定のセミナーは以前より取りざたされているが、KOセミナーと各支部の活動が充実してきているので、負担が大きくなるので、見合わせる。
- 5) 各支部の活動と状況報告
各支部代議員より報告があった。
- 6) 北陸でユニフォーム（ポロシャツ）を作成予定。JSCのロゴマークの使用を許可願いたい。
回答；使用が承認された。
- 7) JSCホームページ修正・更新の分散化
回答；近々、更新される。また各支部のページを各支部で対応できるようにする。
- 8) 第18回日本カイロセミナー（来年度）の件
回答；会場は、名古屋の邦和セミナープラザが良いのではないか？会場の予約が取れるかどうかであるが、秋はイベントが多くて取れないと思われる。7月に開催が良いのではないか？

9) その他として

回答；国際カイロとの提携、国際カイロの解剖実習への参加が可能

午後5時、前日会議も無事終了。会場から徒歩10分のホテルキャピナス福岡（カプセル）へ移動、チェックインし大浴場で寛いだ後、近くの居酒屋で懇親会の始まり。若き先生方と熱くカイロを語り楽しい時間を過ごしました。その後、二次会でもう一軒居酒屋を梯子して、おとなしくホテルに戻りました。



22日（日）は、午前9時より本部総会の始まり。

議題は、

- 第1号議案；平成29年度事業報告
- 第2号議案；平成29年度決算報告
- 第3号議案；会計監査報告
- 第4号議案；平成30年度事業計画案
- 第5号議案；平成30年度予算案
- 第6号議案；その他

型どおりの議事で、然したる問題もなく11時に総会は無事終了。

昼食は、道坂先生と二人で、駅地下で今回まだ食べていなかった博多ラーメンを食べてきました。美味しかったですよ。

午後1時から禁忌症講座、講師は荒木先生。午後4時2日間の予定が全て終了。皆さんお疲れ様でした。

平成30年度北陸カイロ師協会定期総会

総務担当 山田隆司

平成30年4月29日（日・祝）、15時から高岡生涯学習センターにおいて平成30年度北陸カイロプラクティック師協会定期総会が開催されました。

詳細は、下記の議事録をご覧ください。

平成 30 年度定期総会議事録

【日 時】 平成 30 年 4 月 29 日（日・祝）15 時 00 分～16 時 30 分

【会 場】 高岡生涯学習センター 502 研修室

【出席者】 中川佳親、野原英昭、高橋克典、新開秀樹、磯松俊也、
道坂圭三、行澤幸子、中村 清、井原 亘、山田隆司
以上 10 名（委任状 9 名）

【議事の概要】

1. 平成 29 年度・事業報告

総会資料に基づき、平成 29 年度の活動内容の報告があり、承認されました。

2. 平成 29 年度・決算報告

総会資料に基づき、平成 29 年度の決算内容の報告があり、承認されました。

3. 平成 30 年度・事業計画案

総会資料に基づき、平成 30 年度の活動計画について提案があり、承認されました。

* 白山例会（新設）について

- ・ 日程：毎週土曜日 15:00～21:00 開催
- ・ 会場：道坂オフィス
- ・ 担当：道坂圭三先生

* JSC 北陸支部セミナーについて

- ・ 日程：10/20(土)・21(日)に開催。
- ・ 講師：昨年に引き続き、後藤仁敏先生（鶴見大学名誉教授・歯学博士）
- ・ 内容：発生学（内臓系）

4. 平成 30 年度・予算案

総会資料に基づき、平成 30 年度の予算案について提案があり、承認されました。

- * 支出の部、役員報酬は、29 年度（未払い）・30 年度分

5. その他

* 平成 29・30 年度役員分掌

- ・ 広報部に井原 亘先生が加わり、高橋克典先生をサポートすることに決した。

以上

「禁忌症講座報告と年会費納入のお願い」

会計担当 野原英昭

4月29日(日)高岡生涯学習センターにおいて、講師を高橋克典先生にやっただき北陸支部主催の禁忌症講座を開催しました。

内科系から腫瘍性疾患、出血性疾患、感染性疾患、リウマチ、筋委縮性疾患、心疾患、整形外科系は、椎間板ヘルニア、頸椎後縦靭帯骨化症、変形性脊椎症、骨粗鬆症、腰部脊柱管狭窄症、環軸椎亜脱臼、不安定性脊椎症、側弯症、二分脊椎症、脊椎すべり症、以上の疾患についてのお話を聞きました。

私自身ほぼ毎年受講しているのですが、いつもこの禁忌症講座を受けて思うことは、もちろん自己の能力を把握したうえで、安易に診断して加療してはいけないということです。来院される患者さんには、軽度な問題にみえて実は重度な問題が隠れている可能性が十分考えられます。もし肩や背中、腰の痛みが、腫瘍性や心疾患の問題だったら、考えただけでもぞっとします。よって、徒手療法が対応できる状態かどうかを判断する知識は必要不可欠です。禁忌症講座で学んだことがある程度頭に入っていれば、初期の段階で患者さんに説明して、しかるべき医療機関を紹介することが可能になると思います。

この講座は座学のため退屈で敬遠しがちですが、毎年禁忌症について学ぶことの必要性を感じさせられます。

さて話は変わりますが、会員の皆様には今年度も年会費¥10,000の納入をお願いいたします。北陸カイロ師協会の運営は各先生方の協力なしには成り立たず、また運営のためには年会費が大切な収入源となります。納入は私野原に直接渡していただければ一番よいのですが、なかなか皆様とお会いすることができないので、高橋克典先生に手渡していただければ大丈夫です。高橋先生にも渡せない方は、下記の郵便局の口座に振り込んで下さい。振り込みの際には個人名の記入を必ずお願いします。入金を確認次第北陸カイロ師協会名で領収書を返送させていただきます。

〈振り込み口座〉

- 郵便振替 店名：三二八(読み サンニハチ) 店番：328
預金種目：普通預金
口座番号：1794888
口座名義：北陸カイロプラクティック師協会

※昨年度分年会費未納の会員がおられます。早急に口座に振り込んで下さい。会の規約により2年間年会費未納の場合、自然退会となります。ご注意ください。

退会を希望される方は、野原まで連絡下さい。☎ 0766-57-1006

症例報告

「下肢痛」

竹内 彰

左下肢内転筋に疼痛が有るということで、16歳U君が来院。高校2年生サッカー一部に所属。2ヶ月前に左股関節に違和感を感じたとのこと。最近は歩行痛、ランニング中にも大腿部内側にも痛みを、感じるとのこと。

まず仰臥位になってもらい、下肢内転筋の筋力 test を行う左内転筋↓ パトリック test、で左開排制限及び疼痛を訴える。

左鼠径部真中よりやや外側に硬結及び圧痛が著明。

取りあえずこの3点に絞り、解決することにし、まず恥骨結合関節の調整を行いました。それから鼠径部部の圧痛を軽減する目的で、痛みの取れるポジションを見つけてカウンターストレインを用いた。

結果9割がた圧痛を消去。念のため骨盤隔膜の調整も行いその結果、症状のあった開排制限及び疼痛を消去することができました。

治療の結果を体感してきたのかU君の顔に笑顔が頻りに観られるようになりました。

U君はベットから立ち上がり周囲を歩いたりして、様子を見ていたのですが「ストレッチをやってもいいですか?」と質問をしてきたので「いいよ」と返した所、イチロー選手が打席に入る前に行うポーズをとった処、やはり痛いと訴えてきました。体重がかかる事で、負荷がかかるのかと思い、左の仙腸関節の調整。それから左アキレス腱の内側に圧痛が観られたので、左上部頸椎C1のアジャストを行い、左腰部にも筋筋膜性の疼痛も観られたので、結腸マニピュレーションを施行した結果先程の股関節の開排ストレッチを行ってもなんら疼痛を感じなくなったとのこと。「これでもう痛みは出ないでしょうか?」と不安げな顔をするので、股関節のカウンターストレインも加えておいたところ身体に自信がでてきたのか来院して入ってきた時とは、別人の感じでドアに向かっていきました。

年齢的に非常に若く回復力も旺盛だとは思いますが、いい結果に結びついた症例を、経験したとおもいます。

「顔面神経麻痺」

磯松俊也

症例 67歳 女性 主婦

傷病名: 右顔面神経麻痺

既往症: なし

現病歴: 一週間前夕食後に自宅で急に顔に違和感を覚え、涙が止まらず力が入らなくなりました。

脳神経外科にてヘルペスウイルスによる感染症、症候性顔面神経麻痺と診断される。

内服薬・目薬・ビタミン剤を処方され、約一ヶ月の経過観察と言われた。

御本人様より他に効果的な治療法は無いかと相談され、当院にてリハビリを開始する。

初診時所見：右片側顔面筋の運動機能麻痺、浮腫、口唇ゆがみ片側口角下垂、涎流出、眼瞼下垂、閉眼が出来ずに涙が出て、目の乾きを訴える。

頸椎項部の強直とC3に圧痛、硬結、頸椎サブラクセーション(RPS)、肩凝りを認める。

治療内容：低周波パルス通電療法、患部冷却クライオセラピー、Massage療法、徒手筋力強化訓練(口笛・しかめっ面・アイウエオ発声訓練)、

C3(頸横神経)をアジャスト調整、

クラニアル治療にて頭蓋骨微調整し、顔面神経・三叉神経・下顎神経を中心に神経鎮静リリース&強圧刺激を交互に繰り返す。

後日、顔面筋力エネルギー抵抗訓練と温熱療法(マイクロ超短波)を追加する。

治療経過：

受診3日目：前額部の運動機能に少し軽快が見られるも、口角は下垂のまま下顎の筋力エネルギー抵抗訓練を強化する。

受診1週目：前額・眉毛の筋力はかなり回復、顎関節アジャスト・半月板調整、下顎神経麻痺を丁寧にリリースして刺激を加える、唾液流出が軽快。

受診2週目：C3アジャストと、口腔内・内外側翼突筋の神経筋リリースに著効を示し、顔面筋力がMMT50%程度迄に回復、涙の流出・乾燥が止まる。

受診3週目：筋力エネルギー抵抗訓練にて顔面筋力MMT80%程度にまで回復、見た目だけでは、ほぼ分からない状態である。

受診1ヶ月目：顔面筋力ほぼ回復、口唇・口角・眉毛の歪みも消失、通院回数が激減する。

受診1ヶ月半目：見た目・機能的にもほぼ問題なく、治療を終了する。

再診したDrも余りの驚異的な回復ぶりにビックリして、頭を捻る。(笑)

考 察：

顔面神経麻痺は、原因不明で発症する突発性顔面神経麻痺(ベル麻痺)と、ヘルペスウイルス等による症候性顔面神経麻痺に分類される。

いずれも神経組織がダメージを受け、自然回復が見込まれる二週間以内での早期リハビリ開始が、功を奏する物であると考えられる。

特に通電パルス療法、筋力抵抗訓練、顎半月板と下顎骨の位置調整、クラニアル、口腔内神経筋膜リリース、上部頸椎矯正は著効を示すものであると思われた。

もしDrの指示通り一ヶ月間内服薬で放置されたとした場合、永久的後遺症が残存してしまっていた可能性が存在する事実は、否定出来ない事と特筆したい。

◆神経学講座のご案内◆

北陸カイロプラクティック同友会
会長 高橋克典

皆様におかれましては、日々お元気にご活躍の事と思います。

私儀、長年培ってきたカイロの知識、技術の集大成として、私的な神経学講座を開講しようと思っております。

Dr. キャリックの機能神経学は有名であるが、私の神経学はキャリックの模倣ではないことを強調しておきます。

皆様も大変お忙しい日々をお過ごしのことと思いますが、是非この機会に受講をご検討いただきますようご案内申し上げます。

尚、講座は年6回の2年間で12回の構成になっています。カリキュラムは以下のように考えています。私もまだまだ勉強中でもあり、今できることをお話し致します。そして5クール（10年後）くらいで完成形を目指していきます。

2年後、4年後・・・と、繰り返し皆様と一緒に勉強していけたらと思っております。

【カリキュラム】

第1回	大脳機能と神経回路 (1)	2018年7月29日 (日)
第2回	〃 (2)	9月23日 (日)
第3回	大脳基底核機能と神経回路 (1)	9月24日 (振)
第4回	〃 (2)	11月18日 (日)
第5回	小脳機能と神経回路 (1)	2019年2月17日 (日)
第6回	〃 (2)	5月19日 (日)
第7回	脳神経の検査	7月21日 (日)
第8回	機能神経学 (1)	9月22日 (日)
第9回	〃 (2)	9月23日 (振)
第10回	脊髄神経と末梢神経 (1)	11月24日 (日)
第11回	〃 (2)	2020年2月16日 (日)
第12回	脳と情動・感情	5月31日 (日)

日程は変更になる場合があります。

【開講日時】 原則月一回、日曜日の午前9時～午後5時

【会場】 金沢勤労者プラザ

石川県金沢市北安江3-2-20 ☎ (076) 221-7771

又は、大門総合会館

富山県射水市大門67 ☎ (0766) 52-0564

【受講資格】 北陸徒手医学研究会・臨床過程修了者、
又はJSC・KOセミナー修了者、およびNCA6年修了者

【受講料】 年間80,000円 2年間で160,000円
単発受講は15,000円

【申込み・お問合せ】

北陸徒手医学研究会・事務局 (カイロ全尽堂内)

〒939-0275 富山県射水市八塚488-6

☎ (0766) 52-3706

Eメール ; tz-chiro@po3.canet.ne.jp

編集後記

*冒頭の新支部長の道坂先生の挨拶にもありましたが、厚労省とカイロ法制化について中心になって話し合っているのは、全健会いわゆる蒲団屋さんです。

*会議にはカイロ業界の主だった団体は参加していません。

*蒲団屋さんは、癒しカイロでの法制化も視野に入れているようです。

*元々、医療カイロではなく、カイロを利用した物売りの会ですので、物売りが続けられれば癒しでも何でも良いのです。

*我がJSCでは、情報収集のためにオブザーバー参加しています。

*もしことが進行するようであれば、何としても阻止するように動きます。

*徒手医学会も科学新聞社の斎藤さんも動いてくれるものと思います。

*我国でも、医療としてのカイロ、医師としてのカイロプラクターを何としても実現しなければいけないのです。

*北陸支部も小さな会ですが、北陸のカイロの発展のためにも皆さんとこれからも力を合わせていきたいと思っています。

*今年度も、皆さんと一緒にカイロへの方向付け、カイロの研鑽に努めてまいりましょ
う。

(編集長 ; 河童ハゲ)